

ボタン操作

MODE LOCK 吐出現期間の設定
1~12ヶ月(12モード)
2秒間押ししてロックを解除()

POWER 電源ON / OFF
ON: 2秒間長押し
OFF: 3秒間長押し

振動検知モード
(装着ガイドNo.7を参照)
POWER + MODE LOCK POWERボタンを押し、
MODEボタンを押し

TEST グリース容量の選択
(60/125/250ml)
テストモード
ON: 2秒間長押し
OFF: 短く押す(サイクル終了後にOFF)

LCDディスプレイ

MONTH 吐出現期間設定

180 吐出現期間終了までの残日数

オートロックモード

60/125/250 グリース容量

TEST テストモード

5603 吐出現期間終了後の経過日数
、**LED**が表示されます



RESET リセット(給油装置に不具合が起こった場合やサービスパック交換時にデフォルト設定に戻す)

603 給油停止後の経過日数
LEDが表示されます

UP 設置後、2年間経過
250mlは1年6ヶ月経過
、**LED**が表示されます

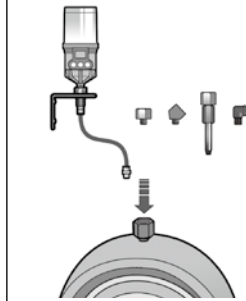
バッテリー低下

M 過剰な背圧 / 給油停止

水滴 グリース容量の低下

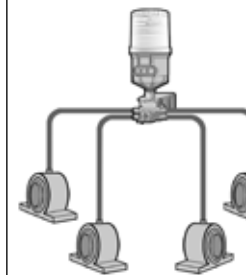
Red LED 過剰な背圧、バッテリー低下、
グリース残量低下の給油停止時にLEDが点灯

設置方法



シングルポイント設置
直付け、もしくは遠隔設置

直付けが最も好ましい設置方法ですが、遠隔で設置する際は適切なアクセサリを使用して、配管の長さを最短化してください。チューブを利用する場合は、内径06(1/4")のものを用意し、事前に本体と同じグリースを充填してください。



マルチ給油設置
分配弁(2~8口)を使ったマルチポイント設置

配管内の背圧が通常30bar(435psi)以下の場合に使用が可能です。

注意

- ▶ 分配弁の吐出口は閉じないでください。必要に応じた吐出口の分配弁を使用してください。(例: HU-3RSは3ヶ所のみ、HU-5RSは5ヶ所のみ)。
- ▶ 詳細はマルチ給油用の取扱説明書を参照してください。

注意事項

配線: 振動検知器に接触しないよう、適切な長さに調節してください。
定期点検: 振動検知器を垂直に保ってください。定期点検では振動検知モードを起動し、設備の稼動に応じて、振動が正しく検知されているか確認してください。
必要に応じて振動検知器の位置と感度を調整してください。
推奨使用期間後のサービスパックの交換: 設置日から2年(250mlは1年6ヵ月)経過後、LCD画面に **UP** が表示された場合、グリース残量に関わらず、すぐにサービスパックを交換してください。(グリース硬化、電圧の低下による吐出不良が起こる可能性があります。)

商品の保存可能期間と保証条件

商品の保存可能期間は生産日より1年間です。保証は、材料欠陥、製造に起因する不具合にのみ限定され、品の誤使用、不適切な使用に起因して発生した付随的な損害については補償いたしません。保証期間は、納入日より1年間です。

ISO9001/14001

PULSARLUBE

The World Leader of Automatic Lubrication

総輸入販売元

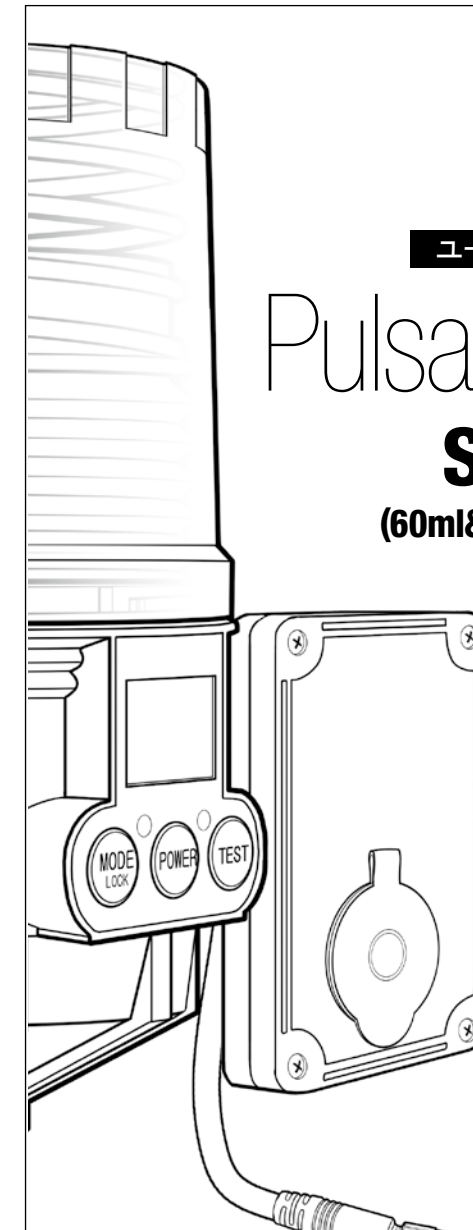
株式会社 シー・エス・シー
COMMUNICATION SCIENCE CORPORATION

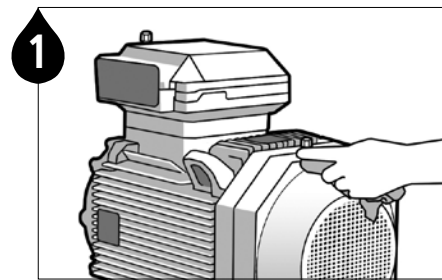
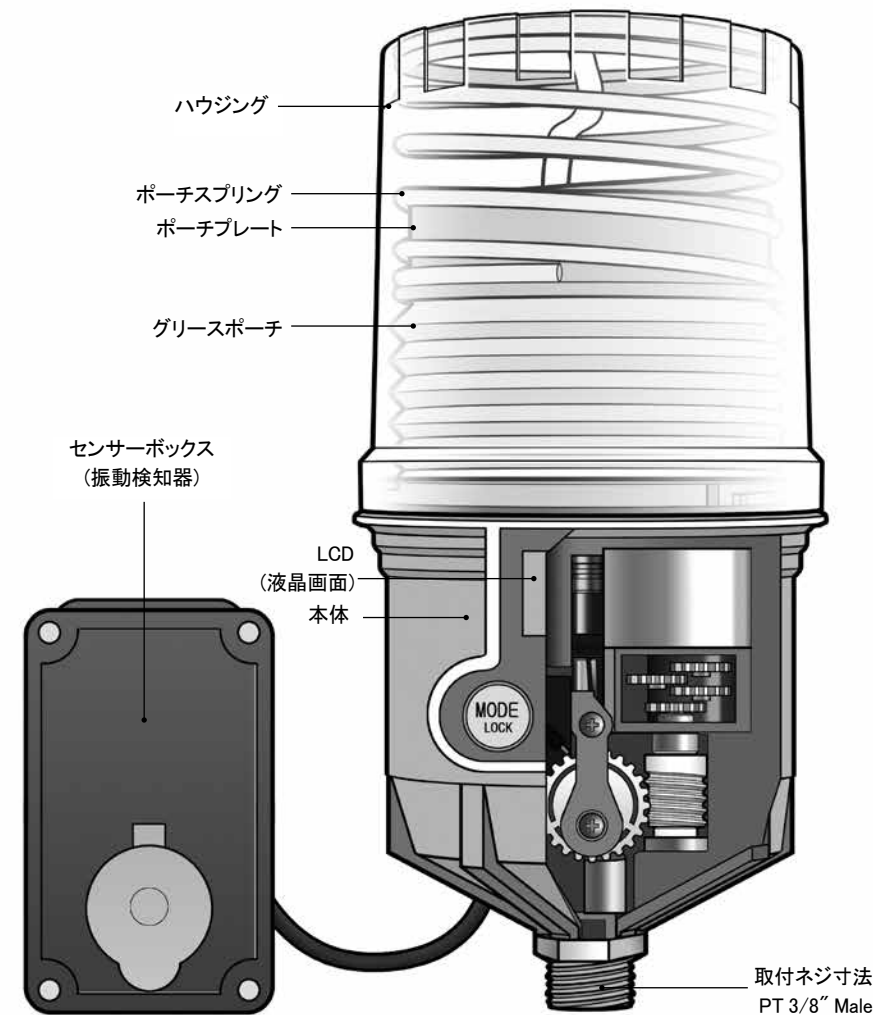
〒102-0075 東京都千代田区三番町 3番地8 泉館三番町 4階
TEL : 03-5215-0117 / Fax: 03-5226-0427
www.pulsarlube.jp

PULSARLUBE

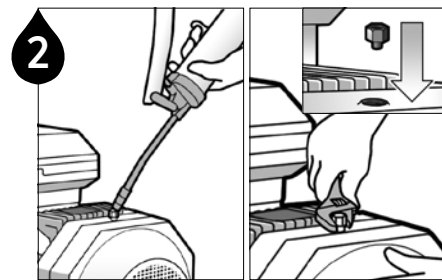
ユーザマニュアル

Pulsarlube **Mi**
Series
(60ml&125ml&250ml)

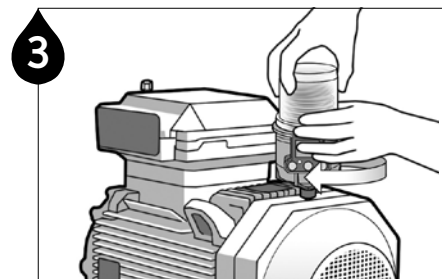




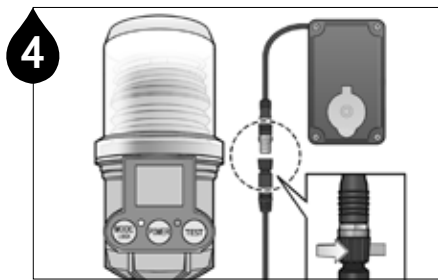
1 給油口の周りの汚れを取り除いてください。



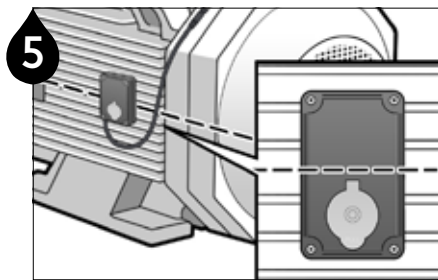
2 手動グリースガンで給油箇所への経路を確保してください。(同じもしくは適合性のあるグリースを使用してください)



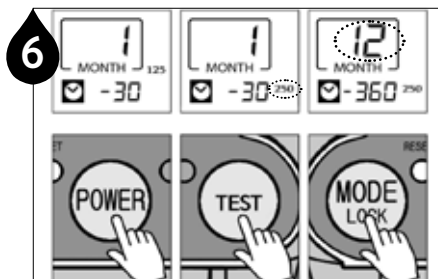
3 給油箇所に給油装置を設置してください。



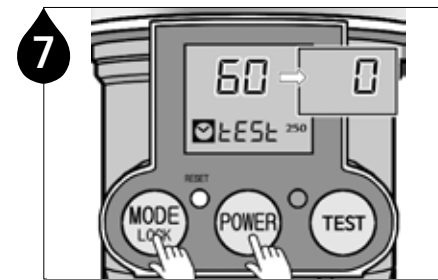
4 センサーボックスのケーブルと給油装置のケーブルを結線してください。



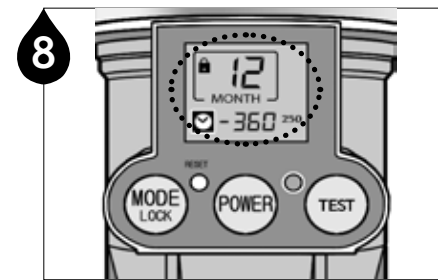
5 センサーボックスを振動を検知しやすい場所に垂直に設置してください。キャップは下向きに設置します。



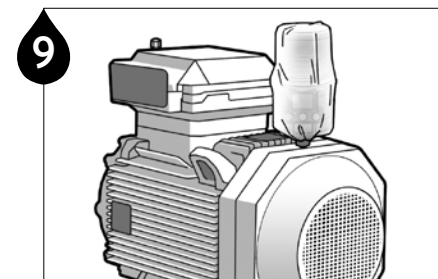
6 **POWER** を押して電源を入れ、**TEST** を押してグリース容量を選択します → **MODE LOCK** を押して希望する吐出期間を設定します。



7 **MODE LOCK** と **MODE** を押して振動検知モードを開始します。「振動センサーの感度調整方法」を参照してください。



8 振動センサーの感度の設定後、LCD画面にロックアイコン、残日数、設定期間、グリース容量が表示されれば、設定は完了です。



9 本体にダストカバーをかぶせます。

1. センサーボックスの黄色いキャップを開けてください。
2. **MODE LOCK** と **MODE** を押すと、60秒間振動検知モードを開始します。
3. ダイヤルを回して、感度の調節を行なってください。0が感度が最も低く、10が最も高くなります。(デフォルト設定は10です)
4. 時計アイコンとLEDが点灯するまで感度を最も低く設定してください。
5. 振動を確実に検知できるまで、必要に応じて3及び4を繰り返してください。センサーレベルを正しく設定できない場合、センサーボックスの設置場所を変更してください。

注意 60ml及び125mlは15分毎、250mlは30分毎にセンサーが振動を検知します。



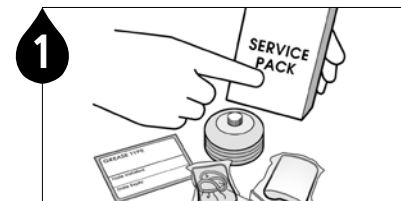
設備が稼働すると、すべてのアイコンが画面に表示されます。



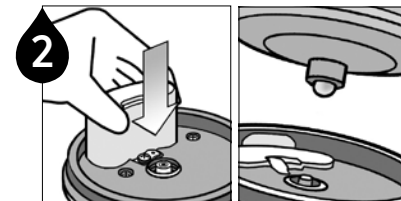
設備が稼働していない時は、画面に何も表示されません。



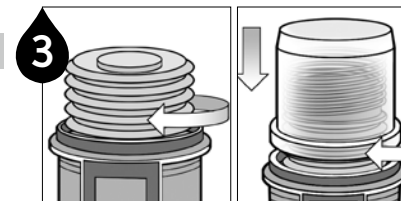
注意 本体が適切に同期されていない場合、センサーボックスを調整するか、設置位置を変更してください。問題が継続する場合は、販売店にご相談ください。



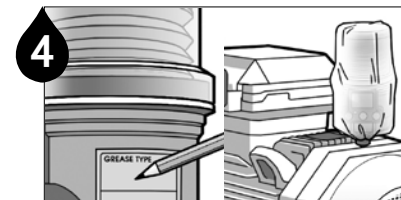
1 グリースポーチ容量とサービスパック(バッテリーパック、グリースポーチ、ダストカバー)を確認してください。



2 バッテリーパックを挿入し、グリースポーチからグリースを少しだけ出した状態で設置します。



3 グリースポーチを締め過ぎないように取り付け、ハウジングをかぶせてください。



4 設置日と吐出完了の日をメモし、ダストカバーを取り付けてください。